

新作百人一首替え歌 その 7(45-48)

そんなことやれという人はいないよ もうそんないたづらはやめようね
やれやれと いふべき人は思ほえ(思いつかず)で そのいたづらはやめるべきかな

45 あはれともいふべき人は思ほえで 身のいたづらになりぬべきかな



海が荒れてるなあ 船が揺れて船酔いでたまらん いつ着くのだ
ゆらぐ船 渡る乗客 吐き気耐え この先知らぬ 船の酔いかな

46 由良の門を 渡る舟人 かちをたえ ゆくへも知らぬ 恋の道かな



この宿はガラガラだなあ客の姿が見られないよ
閑古鳥 不人気宿の寂しきに 客こそ見えね 空きは見えけり

47 八重葎(むぐら) しげれる宿のさびしきに人こそ見えね 秋は来にけり



町のかまさん

あるひ まちの なか くまさんに であつた ビル 建つ 町の みち くまさんに であつた
くまさんの いうことにや おじょうさん おにげなさい
スタコラ サッサッサのサ スタコラ サッサッサのサ
ところが くまさんが あとから ついてくる
トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト



おじょうさん おまちな
さい
ちょっと 風邪ひくよ
厚い この毛布
おかけなさい・・・

(なぜ熊が逃げろというか意味不明・・・元歌も謎の歌詞だから)



風邪ひくよ 言われて無視も おのれのみ くだらぬ見栄を はる薄着かな

48 風をいたみ 岩うつ波のおのれのみ 砕けてものを 思ふころかな